

忘れられない笑顔

碧南市立東中学校

杉浦 創

「俺、歌うの嫌いだもん。」

合唱コンクールの練習を始めようとい
うとき、思わずAが漏らした言葉である。

Aは明るく、自分の気持ちに素直な子。
好きなことには前向きに取り組めるが、
嫌いなことはなかなかやろうとしない。

「合唱コンクール、嫌だなあ。」

Aは誰に言うわけでもなく、独り言を
つぶやいていた。Aは、歌うことを特に
苦手としていた。

いざ練習が始まると、みんなが一生懸
命に声を出している中、Aは口をほとん
ど動かさず、ただ立っているだけのよう
に見えた。Aに声をかけても、うつむい
てしまい、歌おうとしない。何とかしな
ければと思い、歌詞の意味をクラスみん
なで考えてみることにした。少しでもA
が前向きになれるかもしれないと考えた。

リーダーを中心に、クラスメイトたち
は歌詞の言葉一つ一つから感じたことや、
歌詞をどう捉えたのかを思い思いに発表
していった。ああでもないこうでもない
と語り合いながら、歌詞の意味すること
へと迫っていった。その様子をAはじっ
と見ていた。すると、突然Aが、

「俺は、この部分、いいなって思う。」

と、発言した。Aが指差した歌詞には
『僕らの奇跡を 今 起こしてみせる』
と書いてあった。Aはさらに、

「金賞が取れたら、それって奇跡じゃ
ん。奇跡、起こしてみたいなって思う。」
と、続けて言った。クラスメイトの語り
合いを聞いているうちに、Aの中で、心
の変化があつたのだろう。みんなもちよ
つと驚いたような顔をしていたが、Aが
合唱コンクールに対して前向きな発言を
したことを喜んでいた。

本番当日、クラス全員で円陣を組み、
気合を入れてステージに登った。一年一
組の生徒たちは、これまでの練習で仕上
げてきた歌声を体育館中に響かせていた。
Aも口を開けてしっかりと歌っているの
が確認できた。あんなに嫌がっていた姿
を思い出すと、Aの大きな成長を感じた。
結果発表。一組の曲が流れた瞬間、ク
ラス全員が飛び上がって喜んだ。Aも隣
の生徒と笑顔でハイタッチをしていた。

「俺の言った通
り金賞だね。」
と、おどけて話
すAの顔は、達
成感を得たすが
すがしい表情を
していた。あの
笑顔は一生忘れ
られない。

